

まちの話題 あれこれ

身の回りに起きた出来事など、
楽しい情報をお寄せください。
役場企画財政課 (☎ 611-2724)



地域おこし協力隊の菊池さん、鈴木さん（左から）

矢巾町への思い熱く！ 地域おこし協力隊が着任

地域おこし協力隊として、菊池翔さん（32）と鈴木俊太さん（29）が矢巾町に着任しました。

2人は首都圏からの移住者で町内に在任しています。今後は、町のイメージアップにつながる人物や場所、商品を町内外にPRするための活動などを行います。菊池さんは「矢巾町をさらに活性化させるため、さまざまな勉強をしてそれを発揮できるようがんばります」と述べ、鈴木さんは「元氣のある矢巾町に魅力を感じています。矢巾町とともに自分自身も成長できたらよいと思っています」とそれぞれ決意表明しました。



高橋町長から委嘱状を受け取り、これからの活動や構想などを語り合いました。



ドキドキワクワクの学校生活スタート
先生のお話をしっかりと聞く児童たち

町内4つの小学校（徳田小・煙山小・不動小・矢巾東小）の入学式が4月7日、10日の両日に行われ、4校合わせて231人が小学生の仲間入りをしました。

矢巾東小学校（佐藤真校長）の入学式では、新1年生66人が一人ずつ名前を呼ばれると、みんな大きな声で「ハイ！」と返事をしていました。

佐藤校長は「これから楽しく勉強や遊んだりするために、元氣にあいさつ、先生のお話をよく聞く、交通安全に気を付けて、ニコニコ、ワクワクの小学校生活を送ってください」とあいさつ。児童たちはこれからの学校生活に胸を弾ませていました。

大きなランドセルを背に笑顔 ピカピカ1年生が小学校入学



緊張したけど、元氣にお返事できました！



株佐々木組が地域貢献活動に尽力

株式会社佐々木組(佐々木和久代表取締役社長)が、町内小中学校の敷地内道路の補修工事を実施。アスファルト舗装が剥がれた箇所などを無償で補修し、子どもたちの学校生活での安全確保に貢献しました。



決意新たに町内中学校で入学式

町内中学校の入学式が、4月7日、8日に行われ、新たに256人が中学生の仲間入りをしました。矢巾中学校(佐々木 庸 校長)では、希望を胸に新入生128人が入学式に臨み、新生活への決意を新たにしていました。



きれいな町を目指して清掃活動

4月9日の早朝、毎年春と秋の2回行われる「町をみんなできれいにする運動」が町内全域で行われました。当日は肌寒い中、町内各所で参加者が協力し合い、道路や公園などの清掃に励む姿が見られました。



絵本を受け取った園児らと
高篠グループ代表(中央左側)

武蔵貨物グループ(高篠勝正グループ代表)が社会貢献活動の一環として町内の保育園と認定こども園に「よい子の本」を寄贈。4月2日、同グループの交通安全大会で行われた寄贈式で、園児の代表に絵本を手渡しました。高篠グループ代表は「地域の子どもに本を読んでもらい豊かな心の成長に役立ちたい」と話していました。

この取り組みは、同社盛岡支店が町内にあり、地域貢献を目的に本の寄贈を2011年から続けています。

子どもたちの心の成長を願って
保育園と認定こども園に本を寄贈



協定書に調印し、握手を交わす高橋町長と
西郷代表取締役社長

町と株式会社薬王堂(西郷辰弘代表取締役社長)は4月4日、「地方創生の推進及び災害時における協力に関する連携協定」を締結しました。

地方創生の推進の一環として、プロ野球公式戦などで協力して町のPRを行うほか、親子で食について学ぶセミナーの開催を計画。また、災害時には同社が物資の提供をするなど行います。

協定締結にあたり西郷代表取締役社長は「地元矢巾町のために各種イベントを通じて役立ちたい」と述べていました。

地域の活性化と災害に強いまちへ
薬王堂と連携協定を締結